

本県産春きゅうりの本格出荷はじまる！市場で試食宣伝会開催

これから迎える本県産春きゅうり(促成作型)の出荷最盛期を前に、JA全農ぐんまでは東京大田市場に入る東京青果(株)と東京荏原青果(株)にて、主産地の一つであるJA邑楽館林とともにきゅうりの試食宣伝会を開催し、行き交う仲卸やバイヤーなど市場関係者へ向けて産地PRを行いました。

群馬県産きゅうり試食宣伝会

- 日時/2月8日(木) 6:30~
- 場所/東京都中央卸売市場 大田市場内
東京青果(株) 及び 東京荏原青果(株)卸売場
- 主催/JA全農ぐんま
- 内容/本県産春きゅうりの試食を通じた消費宣伝PR

食品メーカーとのコラボしきゅうりの食べ方提案で消費拡大へ

今回きゅうりの試食提供で用意されたのは2種類で、東京荏原青果ではマルコメ(株)のもろみ味噌を添えた「もろきゅう」、東京青果ではフジッコ(株)の昆布を和えたきゅうりで、どちらも食品メーカーとのコラボレーション(クロスMD)で食材とともにその食べ方の提案を行い消費拡大を効果的に図りました。

また、早朝の冷え込む市場でのきゅうり宣伝となったため、温かいお茶のおともとしてきゅうりを提供し、買参人には好評を得ていました。



試食提供したもろきゅうとPRの様子



東京荏原青果(株)での展示PR

寒波の影響で一部生育遅れなどが見られるものの、各産地とも今後はおおむね平年並の出荷へ

本県のきゅうり生産のメインとなる促成作型は今年、定植時の記録的な寒波の影響を受け一部で生育の遅れが見られましたが、現時点でおおむね順調な生育を見せており、平年どおり2月下旬以降に出荷最盛期を迎えます。現在主産地の宮崎県などでは早い切り上がりも予想されており、まもなく主産地は関東近在産地へと移っていきます。

本県産きゅうりは昨年東京都中央卸売市場において産地別入荷量で第1位に輝いていますが、競合する他産地も現在はおおむね順調な生育がみられており、今後いかに産地シェアや販路を維持拡大するか、そしてなによりも責任産地としてきゅうり全般の消費拡大をどう図っていくか大事な時期となってきます。

東京都中央卸売市場におけるきゅうりの入荷状況(平成29年)

